

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19 日 (土)		会 場 : 大垣商業高校	
開始時間: 14:00 ~	第 1 日目	女子	一回戦
Aチーム 岐阜県 岐阜女子	102	$\begin{bmatrix} 24 & - & 18 \\ 27 & - & 21 \\ 24 & - & 13 \\ 27 & - & 25 \end{bmatrix}$	77 Bチーム 三重県 四日市商業

立ち上がり、四日市商業はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、相手のミスから 新實の速攻やドライブで6-0とする。岐阜女子はガード陣が落ち着きを見せ、 王のゴール下、 越智のミドルシュートで7分には16-16と追いつき、その後はリードした。第2ピリオド、岐阜女子は 服部のミドルシュート、 越智の3点シュートで、3分には33-23と10点リードする。四日市商業も 伊藤(麻)、 伊藤(友)の3点シュートで追いかけるが、ファウルトラブルで追い切れない。岐阜女子は高さを活かして徐々に差を広げていった。

第3ピリオド、岐阜女子は 服部のドライブ、 王のポストプレーで攻める。四日市商業は 竹本、 伊藤(麻)がミドルシュートを決めるも単発となり、7分には68-47と岐阜女子が21点の差をつける。その後も岐阜女子のペースでゲームが進む。第4ピリオド、四日市商業は、 伊藤(麻)、 片山の3点シュートで追いつけるも、岐阜女子は 富崎のドライブ、 岩田のゴール下シュートなどで相手の追撃を許さない。その後外角シュートが決まらなくなった四日市商業に対し、岐阜女子は 服部、 広瀬が速攻によく走り、リードをさらに広げて危なげなく逃げ切った。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	杉山広之

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19 日 (土)		会 場 : 大垣商業高校	
開始時間: 14:00 ~	第 1 日目	女子	一回戦
Aチーム 愛知県 星城	60	$\begin{bmatrix} 20 & - & 23 \\ 6 & - & 17 \\ 17 & - & 12 \\ 17 & - & 4 \end{bmatrix}$	56 沼津中央

星城はゾーンプレスからマンツーマン、沼津中央はマンツーマンで始まる。星城はゾーンプレスで相手のミス誘うが、沼津中央は何とかボールを運んで 鷺巣、加藤の2対2で次々に得点を重ねる。星城も 玉松の切れのある1対1や、中川のインサイドプレーで得点し、第1ピリオドは23-20と沼津中央のリードで終了。第2ピリオド、星城は2-1-2ゾーンで相手の 鷺巣、加藤の1対1を止めようとする。沼津中央は 神戸の3点シュートなどで対抗するが、リバウンドを相手に支配されて第2ピリオドは6得点に終わった。前半は40-26と沼津中央のリードで終了。

第3ピリオド、星城は2-1-2ゾーンで相手の外角シュートを翻弄し、オフェンスでは 中尾、玉松の1対1で得点する。沼津中央は、かろうじて 笠井の3点シュートでリードを保ち、第3ピリオドを終わって52-43と9点のリード。第4ピリオド、星城は2-1-2ゾーンで相手のミス誘い、リバウンドも制して、中尾、玉松の活躍で徐々に点差を詰めていく。残り3分で3点差まで追い上げ、松尾の3点シュートで逆転に成功。結局、沼津中央は第4ピリオドを4得点に押さえられ、星城が逆転勝ちで準決勝に駒を進めた。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	西脇勝己

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19 日 (土)		会 場 : 大垣商業高校	
開始時間: 15:40 ~	第 1 日目	女子	一回戦
Aチーム 岐阜県 県岐阜商	39	$\begin{bmatrix} 9 & - & 26 \\ 9 & - & 28 \\ 7 & - & 31 \\ 14 & - & 17 \end{bmatrix}$	102 Bチーム 愛知県 桜花学園

桜花学園は、序盤から激しいディフェンスでボールを奪い、早川のポストプレー、塚野のリバウンドシュートなどで着実に得点を重ねていく。対する県岐阜商は、柴田(ひ)のポストプレー、加藤の3点シュート、渡辺のスティールからの速攻などで得点をあげるが、どれも単発に終わる。桜花学園は、高さを活かした堅い守りで着実にリードを広げる。第2ピリオドも桜花学園の勢いは止まらず、塚野のミドルシュート、田中の3点シュート、早川のポストプレーなどで得点を伸ばす。県岐阜商は加藤のドライブで攻めるが、思うように得点を上げられない。桜花学園は前半で54-18と大きくリードした。

第3ピリオド、桜花学園は中川、田中、早川が次々に得点をあげ、残り3分にはスタートメンバーを全員ベンチに下げる余裕を見せた。第4ピリオド、県岐阜商は岩田の3点シュート、加藤、渡辺のドライブ、柴田(ひ)のポストプレーで必死に食い下がり、互角の展開となった。しかし、高さ、シュート力とも勝る桜花学園が圧倒的な力を発揮し、余裕のゲーム運びで準決勝に駒を進めた。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	市川 学

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19 日 (土)		会 場 : 大垣商業高校	
開始時間: 15:40 ~	第 1 日目	女子	一回戦
Aチーム 三重県 津商業	53	$\begin{bmatrix} 17 & - & 12 \\ 16 & - & 26 \\ 8 & - & 24 \\ 12 & - & 16 \end{bmatrix}$	78
		Bチーム 静岡県 常葉学園	

両者マンツーマンで試合が始まる。立ち上がり、両チームとも攻撃のリズムがつかめずミスを重ねるものの、スピードで勝る津商業が 宮田、樋口の3点シュートなどで得点し、17-12と5点のリードを奪う。第2ピリオド、津商業は 宮田のカットイン、岡本のゴール下とスピードを活かした攻めをするものの、シュートの正確さに欠ける。それに対して常葉学園は 田中のミドルシュート、松永の3点シュート、杉山のカットインやセットプレーで得点を重ねて逆転に成功する。38-33と常葉学園が5点のリードで前半を終了した。

第3ピリオド、開始早々から常葉学園は堅いディフェンスで相手の攻撃を止め、王の速攻を皮切りに一気に波に乗った。その後も 松永がゲームをコントロールし始めるとチーム全体が機能し始め、リバウンドも制して62-41で第3ピリオドを終えた。第4ピリオドに入っても、津商業は相手の堅い守りの前に脚も流れも止められ、宮田がレイアップで応戦するのみ。結局、常葉学園はその後も 池谷のミドルシュート、松永のミドルシュートで着実に加点し、78-53で勝利を収めた。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	堀口和人